



まいた

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/>

あけましておめでと〜いございます

校長 保科 泉

平成二十八年が始まりました。



保護者、地域の皆様におかれましては、昨年も本校の教育諸活動に對して、たくさんの励まし、ご意見ご質問、アイデア、時にはお叱りも

頂戴し、誠にありがとうございました。こうした様々な声を生かしながら、本年も職員一同頑張つていく所存です。どうか引き続きよろしくお願いいたします。

今年はとても暖かい年末年始でした。

新年になり花壇をのぞいてみると、四月に迎える新入生のために五年生が植えたチューリップの球根から、いくつかが芽が出ていました。ちよつと早いかな、とも思いますが、地中でしっかりと根を伸ばし、栄養を吸い上げて成長してきた球根が、初春のような陽気に誘われて地上に顔を出してきたようです。チューリップが満開の頃には、六年生は中学校へ巣立ち、他の学年も進級に向け準備万端が整っていることでしょう。

これまで蒔田小学校は、子供たちが心も体も頭も共に健やかに成長できるように、いくつかの方針を立てて教育活動を進めてまいりました。その中心になるのが、自分の力を信じて努力すれば伸びていけるという自信をもてるようにすることです。そのために、自分の成長の姿がイメージできるように、目標をはっきりもてるようにし、そこにいたるまでの道すじを子供たちと教師が一緒になって考えていきます。そして、その道すじに小さなステップを用意して、「できた」「分かった」と言える瞬間を積み上げていく教育をしていこう、というものです。このことを進めていくため、昨年度より体育科の授業を中心に取上げて研究を進めてきました。跳び箱、鉄棒、マット運動、ボールゲーム、保健、陸上運動、ダンス・表現運動…。様々な領域・学年の授業を分析・検討をする中で、次のような学びの道すじが明らかになりました。

- ① 子供たちが自分に合った目標をもつこと
- ② 目標に向かう方法を身に付けること
- ③ 目標達成に向けて人の手を借りながらも出来るだけ自力で取り組むこと
- ④ 一つの目標が達成できたとき、その次の目標を見つけ更に成長していこうとすること。



◎この学びの流れを通して「できた・分かった」経験を積み重ねることが自信につながり「生きる力」を育むことになるということ。

このことは以前からずっと言われてきたことです。でも改めてこうした活動を見直して実践していくことで、蒔田小の子供たちが目標に向けて真剣に学んでいる姿、人と力を合わせ助け合つて力を伸ばしている様子がたくさん見られるようになりました。

校門横の斜面地に今年も水仙の花が咲きました。一年間地面の中で栄養を蓄え、時期を見計らってきちんと花を咲かせる自然の力に感心するとともに、学ぶことの楽しさ、成長していくことの喜びが、子供たちの生きることへの栄養になるように、今年も頑張つていこうと励まされました。